

設置当時の笠岡大教会の図

実践項目集計

	おさづけ	にをいがけ	おぢばがえり
1月	106, 367	5, 854	1, 331
2月	93, 530	5, 943	783
3月	90, 445	6, 384	1, 040
4月	95, 793	6, 136	1, 433
累計	386, 135	24, 317	4, 587

此度、五月十六日より三日間、教会長おやさと講習会を受講させて頂き、己の至らなさを痛感致し、おかけ頂いております親心に対し、自分は何をしているのかと申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

三日間の講習会のメインは、何と言っても延べ五時間十五分になるうかと言うねり合いの時間ではなかったかと思えます。最初、プログラムを見た時には、此の時間の長さには思わず溜息が出てしまいました。

同じ教会長同士ではありませんも、当たり前の事ながら、持場・立場が異なり、教会の大きい小さい、年限の深い浅い、老若男女等と千差万別であります。

一つの悩み事・意見に対しても、各人各人の意見と悟り・通り方を聞かせて頂き、その確固たる信念と経験からの説得力ある言葉には、思わず勇気と力が湧いてくるのを覚えました。

上吉野分教会長 桑 本 光 則

教員もおやさと講習会を受講して

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311

笠岡大教会 創立110周年

三年千日スローガン
論達を實踐し、をやの理を戴こう
本年の実践項目

- 一、おさづけの取り次ぎ
- 一、陽気ぐらし講座と百万軒にをいがけ
- 一、一万人のおぢばがえり

その中にも、年若い会長さんが有名無実の事情教会を親の声一つに素直に受けられて、「私は親孝心という言葉が大好きなんです」と、すがすがしい笑顔で言われていたのが心に残りました。

お言葉の中に、「続いてこそ道と言う」と聞かせて頂きます。今、私達の使命は、実動・布教であります。此機に何か一つ自分に出来る事を、新たに心定めに加えさせて頂き、おかけ頂く大いなる親心に、届かぬ年も末代かけてお応えさせて頂き、教会内容充実へと勤めさせて頂く所存でございます。

百万軒にをいがけ 活動を通して

クレームかと思つたら……

海松ヶ岡分教会 森 本 孝 志

五月十八日の夜九時半頃でした。父母、その他数人で相談事をしていたところに電話がかかって来たので、私は電話機を廊下へ持ち出して受話器を上げました。

「先日私の家に『気まま勝手に不幸を生む』と題する天理教のリーフレットが配られていたのです。が、どういう事ですか？」との事でした。こちら

がたずね直すと、

「私は一年程前から自宅の教会のスタンプが押されたチラシが入るのを楽しみにして、いつも読ませて頂いてきました。そんな中、最近近所の人達ともめ事があり、

一人考え込んでいた時にこのリーフレ

ットが配られ、これは

近所の人のイタズラか教会の誰かが私のことを聞きつ

けて配られたのかも……と思つて念のために電話させて頂きました。」という内容でした。

当教会で毎月配らせて頂いている地区でもあり、リーフレットの裏に教会名が入っていたので私共が配らせて頂いているものに違いなく、どのお宅にどの内容のものを配るといふことはなく、軒並みに同じものを皆で手分けして配らせて頂いている旨を伝えました。ご婦人は納得され、その後は最近のご自分の身の事情についてお話し下さいました。

詳しい事情が分からない私は何もおさとしする事ができませんでしたが、最後には今後も配りものを楽しみにしているので、またお願いしたいとおっしゃって下さいました。

その電話の内容がどんなものだったとしても、



何十、何百、何千軒かにほんの一軒でも、そうして我々のリーフレットを真剣に読み、信じ、頼り、楽しみにして下さい方がいる。どんな所においても、そこに我々のリーフレットを待つている方がいると考え、一軒一軒を大切に、抜けて頂いた一瞬間であつた。

母は月に何度となく、今日ほどの用木の方と一緒に、と、次々と信者さんと共に、時には何時間もお配りに回らせて頂いております。同じ様に回らせて頂いている私の妹は「この家は何となく入りづらいな」と思つてしまう事がある様ですが、そんな妹に母は「この家に今リーフレットを配つておかなかつたら、あとで後悔するかもしれないよね。」と言うそうです。加えて「笑顔が何より大切ね。」と、自ら率先してニコニコと配っている様です。

大教会の記念祭が近づくと、親の声に素直にいそいと楽しみ、喜んで添わせて頂く事の尊さを感じさせさせて頂きます。



全教一斉 ひのきしんデー

「ひのきしん大好き」の流れを!

海松ヶ岡分教会長 森 本 忠 平

私達の支部では、五月十三日に笠岡市古城山公園で、除草・清掃を行いました。

昨年より参加人数がかなり少なく、どうしたところかと思いましたが、我が教会は三十五人程で昨年並みでした。

「教会長率先参加」と仰せられませんが、お蔭で私は永年欠席無し。身上的健康を御守護頂いて居ればこそと感謝しております。

支部では、十一月三日にも総出のひのきしんを行い、その場所で開催をもつ慣わしです。春と秋の二回。

私の楽しみは、道具の準備から始まり

ます。数日前から、手ぐわとカマを十丁ずつ位サンダーで研ぎ、軽トラックに手袋・熊手・竹箒などを積み込み、又、草刈機三台位が、絶好調で回転し、刈刃がよく切れる様に整備していると、早くも現場が想像されて心ワクワクして来ます。



今年、鋸刃の付いた3m位の高枝鋏（まきばさみ）を準備して、自分はそれを使いました。草刈機を使える人が増えて、若い人にゆずるからです。

屋外で体を動かした日は、夜不思議と、いつも「五十肩」の痛みを忘れます。

時たま、時間と気持ちにゆとりがある日は、大教会で参道の除草などさせて頂くと、なぜかおぢばがえりなどの意欲が沸いて来たり、又、予定外の日帰り希望者などが出来て、今年はずでに四月末でおぢばへ二十回以上帰らせて頂く結果につながっています。

私は、ひのきしんさせて頂くと、皆喜びの姿になって帰ってくるものと信じております。信者の方に、ハートクリンなど、ひのきしんと言え、いやがる人なく、勇んで動いて下さるのも、有難いことです。

又、「ひとことはなしはひのきしん……」とお聞かせ頂きますが、この頃は、リーフレットや特別号配りのひのきしんも、大ぜい歩いて下さる様になり、教会が明るくなった様に思います。

「全教一斉ひのきしん」も、「百万軒をいがかげ」も、夫々、ちば・大教会という親の御声のおかげと御礼申し、大きな働きは出来ないが、「親が笛吹けば、子供が喜んで踊る」という楽しい受け留め方を、子供や孫たちにも、わが家の方向・流れとし

て、キツチリと伝えることが、私のつとめと心に決めております。

来年も宜しくネ

多古浦分教会長 余 村 健

初春の頃、全教一斉ひのきしんデーの打ち出しを頂き、「ア、毎年の事だ」と思い、気にもかけて居なかつた所、家内が、「今年は五月の月次祭の日が、ひのきしんデーですネ。」と一言。

「アレッ。」チャント予定表を見ると五月十三日。「しまった。」例年、支部会場、国立療養所松江病院の草刈りひのきしんに参加させて頂いて居るので、準備等々、何も関係なく、唯参加させて頂けば良かったのですが、ひのきしんの時間が午前九時から正午まで。まるつきり月次祭の時間と重っている。

「全教一斉のひのきしんデーに参加をせずには居られない。何とかしなければ、何かしなければ。どこかに良い現場はないものか。」と教会のまわりをウロウロと歩き廻つて居ると、教会の川をはさんだ隣に、マリングレートと云う建物があり、気が付かなかつたけれど、その一角に小さな児童公園の様なものがある。

役場に勤める知人に聞いてみると、町の公園との事。雑草もなかなか繁つて居る。「ここだ、ここだ。」自分の中で会場が決まった。

三月に役場に出かけ、案内で、「どこの管轄で

すか」と聞くと、うさん臭げに、「商業観光課です」との返事。そこで事のよしを申し上げると、始めうさん臭げに見て居られた顔が、ニッコリと笑顔に変わる。快諾を頂いた。

月次祭当日なので、例年より多くの参加者を、との思いから、講社祭、布教所月次祭、教会月次祭を通して、おさそい申し上げる。

当日。晴れ晴れとした日。月次祭を元気につとめさせて頂き、現場に直行。皆各々に、カマ等を持参下されて居る。狭い公園なので三十分程度の時間を予定していたが、ひのきしんに入れば、皆、熱心につとめられるので、時間的には、はるかにオーバー。少年会員からお年寄りまで、にぎやかに、なごやかにつとめさせて頂き、皆、良い汗を流し、笑顔を満面。その後、直会へ。そこへ、マリンゲートの方より、お茶、ジュースの差し入れ、皆々笑顔満面。

ところが、後で統計を取って見ると、なんと例年より人数が少ない。皆に参加を呼びかけたけれど、炊事当番の方、又、例年、遠くから来られる方がない、月次祭に参拝した方しか参加がない、等の原因の様だ。

町内に天理教は、我が教会の関係しかない。その中に、地区の方から、「天理さんは、こんな事もされるんですネ。」「きれいになりましたネ。」等々の話しを後で聞かして頂く。喜び一杯。

k来年は、どうし様か？検討中。支部会場で大勢でつとめ勇む姿も大切だし、地域への貢献を考

えれば、今年と同じでも良し。仲々難しいけれど、来年までに考える事にした。

最後に一言。地区の方が、「来年も宜しくネ。」

心の通ひ路

信 仰

芳井分教会 佐藤 真 孝

今現在教内に於いて、横の伝道と共に、縦への伝道が大きな課題の一つに挙げられるだろうと思います。ひと口に縦の伝道と言っても色々な立場からの様々なアプローチがあるかと思いますが、ここでは、個々人の信仰の捉え方との関係にスポットを当てて考えてみたいと思います。

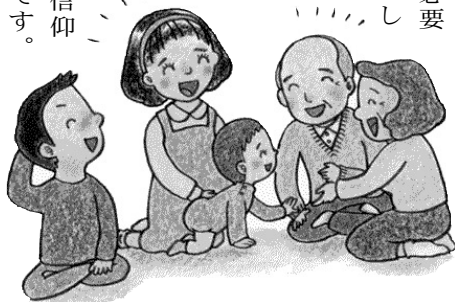
この道の信仰初代の多くの方々は、神様の不思議なたすけに浴して、又は魅せられて入信されたようですが、荷台、二代、三代と下って私たちの代になるとどうでしょうか。現在の日本は、衣食住が満たされず、十分な医療が処されず、藁をも継る思いで神仏にたすけを求めた時代とは、社会背景がかなり変化しました。つまり、現世利益を、わざわざ神や仏に求めなくてもよい時代になったと言えるようです。宗教に現世利益しか求めない

方々には、当然信仰は不要のものとなるので、次に信仰から離れていく現状を招いているように思えます。

しかし、現在の世相に見られるような混沌とした人間社会であるからこそ、私はこの道の信仰目的(心の成人↓陽気ぐらし)を再確認し、次世代へ伝えてゆかなければならないと思うのです。

私事で恐縮ではありますが、三年程前から布教専従の生活を続けてきて思い当たった事があります。身上の方にたすかかって頂きたいと神様に願って断食、禁酒、お願いづとめ、といったことを度々させて頂いたのですが、この最中には、早く食べたい、飲みたい、眠りたいとの我欲ばかりで、真にたすかかって頂きたいとの誠の心は微塵もない我こそが、たすけて頂かなければならない人間であると気付かされました。

御利益を願うばかりの信心であるならば、今日の日本人には信仰の必要などあまり無いのかもしれないませんが、親神様が人間をお創り下された思召に近づかせて頂くことが真のたすかりであり、この道の信仰の目的であるならば、一代限りではなく未代続く信仰にしてゆきたいものです。



大教会だより

II 教会指令 II

◎任命願

久福分教会

*前任 佐藤 ミツコ

*新任 佐藤 憲美

☆奉告祭 立教164年6月17日

立教164年5月26日承認

◎任命願・神殿増築願

鶴南分教会

*前任 酒本 喜之

*新任 酒本 嘉子

☆奉告祭 立教164年6月3日

立教164年5月26日承認

◎教会長おやさと講習会第3次受講者

自 立教164年4月13日

至 立教164年4月15日

興明 吉壽 芳井 藤道 吸江 赤木 由枝 輝美 谷内 仲自 皆部 河原 節喜 明石 杉原 博之 府中市 豊田 道人 東城中 横山 逸郎 島中 内海 安子 驛家 高山 森雄

◎教会長おやさと講習会第8次受講者

自 立教164年5月16日

至 立教164年5月18日

福山 中一 陽備 虫好 金浦 西昌 直美 ひろさと 浅野 芳直 陶山 上原 繁道 吳照 岡崎 繁道 東悠 田林 輝彦 照陽 中村 志計 新山 三島 克巳 上山 野島 弘実 湯田原 高山 昭祥

◎第七一九期修養科修了者

立教164年5月27日修了

福山 鳥井 利昭 福山 多古 浦玉 直美 東福山 久福 羽原 澤美 川島郷 香取 雅文 鴨方 田中 照夫人 眞府 高田 弘之 吉舎 時宗 一実 清嶽 岡田 光夫 上小島 田中 一矩 木津和 丸山 勤 上吉野 桑本 光則 府鮮 奥田 光明 府世原 高信 公枝

◎第七二二期修養科

自 立教164年6月1日

至 立教164年8月27日

亀田山 永田 和雄 多古浦 玉木 直美 久福 羽原 澤美 上小島 田中 扶美 上吉野 久永 扶美 宇津戸 豊田 力ツ

*教養掛

三ヶ月間 中島 誠治 (鶴山分教会長)

一ヶ月目 吉岡 孝彦 (若品分教会長)

二ヶ月目 余村 健 (多古浦分教会長)

三ヶ月目 下田 輝夫 (神村分教会長)

(助手) 貞清 知実 (三郡分教会)

*志願者

笠岡 安斉 和美

西村 晴司

笠村 三村 晴司

出雲 若槻 好美

海松ヶ岡 森本 三千代

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教164年5月14日終講

米府 塩田 能住

五月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎しんで申し上げます

目に青葉山ほととぎす初ガツオと詩にもうたわれる良き旬を迎え初夏の清々しさに心も洗われる思いがする今日この頃改めて親神様の親心溢れる御守護の賜と御礼申し上げる次第でございます。しかしながら世上では目先の欲に囚われ身上事情に心を曇らせかしまのかりもの喜びを失い苦しみに喘いでいる人が多くいます事はまことに申し訳けなくせつかく世界一列救けたいとの思召からお引き寄せ下さった私共よふぼくの成人の鈍さ故の事と日々は反省をしつたすけ一条の歩みを通してより成人を目指して頑張らせて頂いております

その中にも今日の吉日はお許し戴いた五月の月次祭を執り行う日柄でございますので只今から今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達と相共におつとめ奉仕者一同喜び心も一汐に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます。皆の今日の日に寄せる真実の状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて笠岡創立百十周年に向け仕上げの年としてより一層成人の歩みをさせて頂きたいと論達第一号に込められた実動の思いに込めるべく三つの実践項目を掲げて実動に邁進させて頂いておりますが今月は定例の直轄巡教を通してその再確認と一手一つの実動の促進を計らせて頂きました。加えて道の後継者を一人でも多く育てる為には育てる側の意識高揚が大切な上から本日は学生層育成者講習会を開催させて頂きます。高齢者社会の現代であるからこそそれを支える若年層育成は急務の今日少しでも親神様教祖にお喜び頂ける育成に力を注いでいく所存でございます。又時の流れや物の流れ全ての流れが速い中であつておたすけをする心だけはそれに流される事なくじつくりと落ち着いてたすけ一条に邁進する覚悟でございます

何卒親神様には我身思案を忘れ親孝心一筋の皆の誠真実をお受け取り下さいまして万たすけの上に自由の御守護を賜り次々とこの道にお引き寄せ下さいましてお望み下さる陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます

ふたこと みこと

先日、1冊の『コーラン』(聖典)が無惨に破り捨てられ、イスラム教徒が大挙して抗議した。彼らは言う、「日本人には解らんかも知れんが、『コーラン』は命よりも大事だ。」と。

ある時、○○分教会の修養科生に本を借用したいと申し出たら、「この本の上に物を置かないでくださいね。初代会長様の写真が載っていますので……」と言われたそうである。

私達、笠岡の理に繋がる者は、創立110周年の記念祭を目前に控えている。

言わずもがな、記念祭の意は、110年の歩みを経て集い得た信者が、寄り集まってお祭り騒ぎをすることではない。それは、その時々そこに身を置く者が、相集まって、信仰の元一日を振り返り、同じ思いに心を揃え、再び、陽気ぐらしを目指して邁進することだと思ふ。

本年の実践項目も初代様の歩みに倣って唱えているはずである。

極端に教えの始祖や聖典を大切にする余り、そこに争いの起こることを避けてか、教えのをやを忘れ、聖典(おふでさき)を朝の発声練習にしてみました方もおられるかも知れないが、山陽本線笠岡駅で電車に乗ったら、桜井線天理駅を、笠岡ICで山陽道に入ったら、西名阪天理ICを目指すべきである。

いつまでも、USJユニバーサルスタジオジャパンで遊んでみると、知らぬ間に、ハッピーの襟がUSJに変わってしまうかも知れないので気を付けたい。

月日にわにんけんはじめかけたのわよふきゆさんがみたいゆへから